

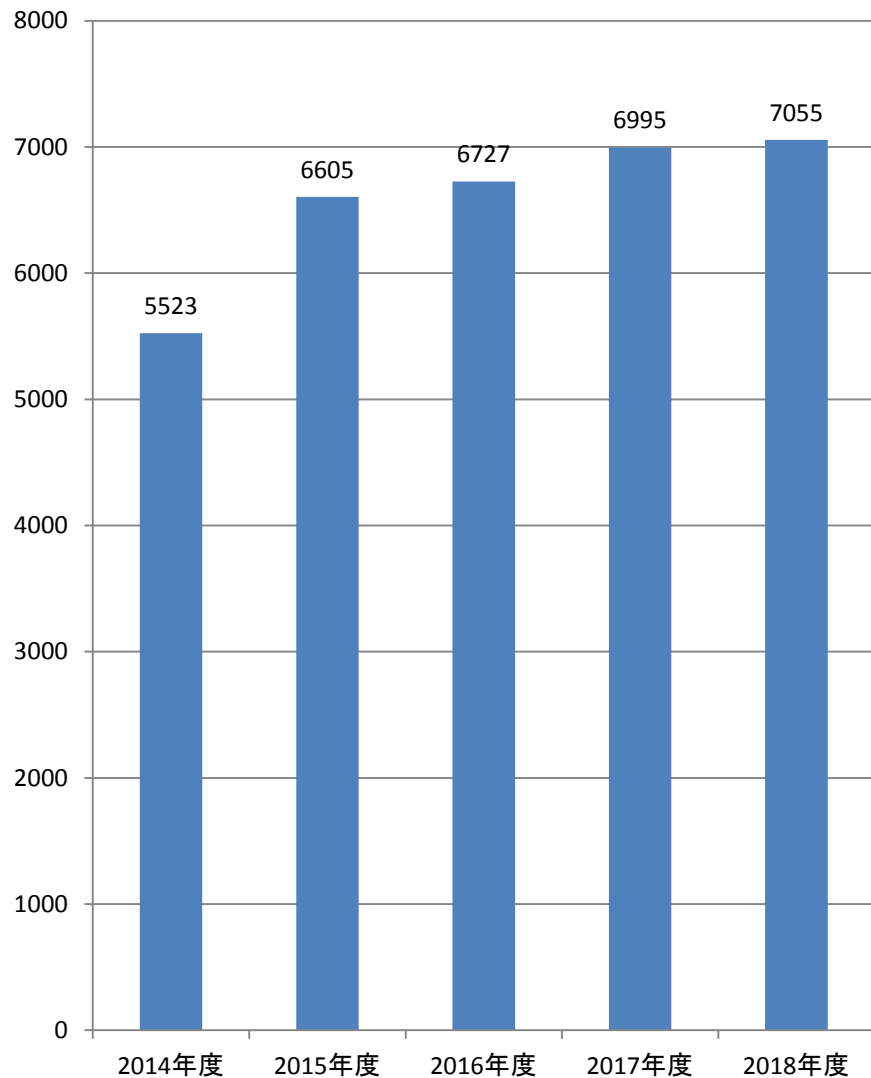
2018年度事業報告サマリー



売上高の推移

(単位:百万)

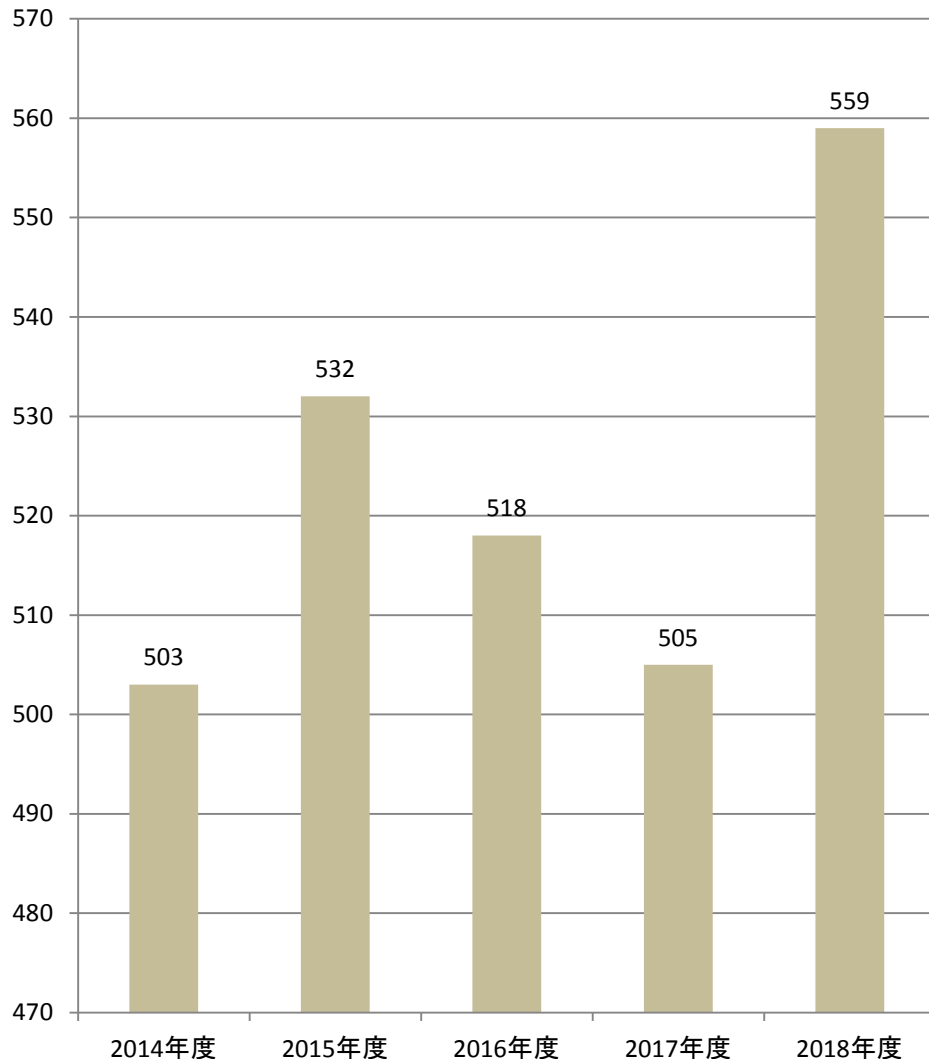
売上高の推移



2018年度収入実績は7,055百万円となり、
2017年度収入実績6,995百万円に対しては
0.9%の増収となった。

規格開発・普及事業

(件) JISの官報公示数推移



2018年度の主要な活動実績

■ JISの開発

- ・ JIS原案作成 (JSA公募制度受理件数): 345件 (前年度294件)
- ・ JIS原案申出提出件数: 559件 (前年度454件)
(内CSBによる申出件数:387件 (前年度301件))
- ・ 新市場創造型標準化制度によるJIS等開発件数: 38件 (内19件は公示済み)
(企業からの標準化に関する個別相談件数136件、標準化支援パートナーシップ機関への研修等の普及啓発は56回実施)

■ 規格説明会 (ISO/IEC/JIS規格の内容、開発状況等)

28回開催

■ 国際標準化・国際規格原案

- ・ 国際幹事・コンビナー運営: 13件
(ISO/TC 69, ISO/TC 164, IEC/SC 3C等)
- ・ 国内対応委員会運営: 39件
(CASCO, ISO/TC 176, ISO/TC 213等)

国際標準化・活動支援事業等

2018年度の主要な活動実績

■ 海外標準化機関との連携強化

【欧州】

独規格協会 (DIN) と独電気電子情報技術委員会 (DKE)
との規格開発に係る協力協定合意
(2018年6月13日、於:ドイツ・ベルリン)

仏規格協会 (AFNOR) との協力協定合意
(2018年10月15日、於:フランス・パリ)

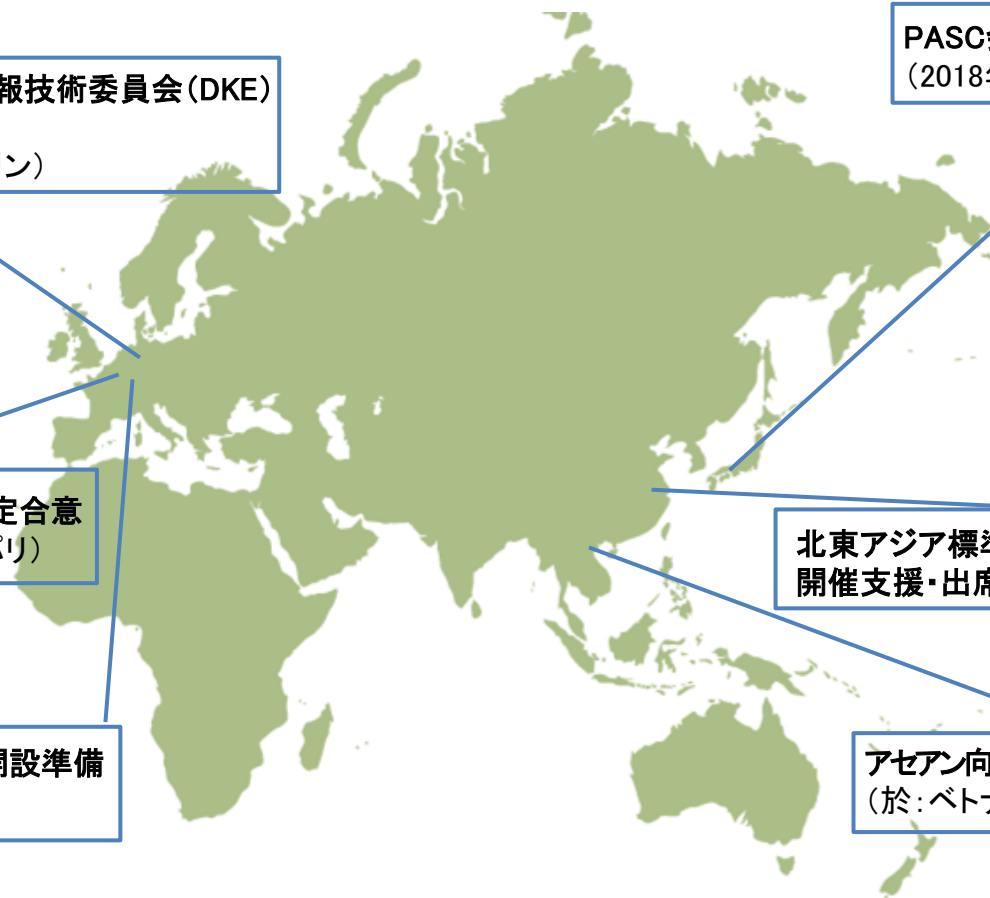
JETROジュネーブ共同事務所の開設準備
(2019年4月開設)

【アジア太平洋地域】

PASC会合開催運営・出席
(2018年5月14日～18日、於:岡山)

北東アジア標準協力フォーラム (NEASF)
開催支援・出席 (2018年6月、於:中国杭州)

アセアン向けワークショップ／研修開催等
(於:ベトナム・ハノイ等)



サービス標準化推進・活動支援事業等

JSA-S 1001 : 2019

JSA-S

ヒューマンリソースマネジメント － 従業員満足 －

組織における行動規範のための指針

平成 31 年 3 月 25 日 発行

一般財団法人日本規格協会

2018年度の主要な活動実績

■サービス標準化

- JSA-S開発:JSA-S 1002
「エクセレントサービスのための規格開発の指針」
(2019年6月6日発行)
- ISO/TC312(サービス イン エクセレンス)
での国際規格開発活動
(日本提案活動を含む)

■JSA規格(JSA-S)制度の運営

サービス分野等で、2019年3月25日に2件のJSA-Sを発行。現在も企業や団体からの問い合わせに対応中で、新規開発案件にも着手している。

組織横断的な取組み

ISO 22000 食品安全マネジメントシステム

ISO 22000は食品安全マネジメントシステムに関する国際規格です。食品安全のリスクを低減し、安全なフードサプライチェーンの展開を実現します。



お知らせ

- 2019年02月25日 【書籍】『2018年改訂対応 やさしいISO 22000食品安全マネジメントシステム構築入門』発行のお知らせ
- 2019年01月31日 【書籍】『ISO 22000:2018 食品安全マネジメントシステム 要求事項の解説』発行のお知らせ
- 2018年12月27日 【書籍】『ISO 22000:2018 食品安全マネジメントシステム 要求事項の解説』ご予約開始のお知らせ
- 2018年09月19日 ISO22000コラムの更新について
- 2018年09月05日 ISO22000コラムの更新について

ISO 22000 とは



ISO 22000は食品安全マネジメントシステムに関する国際規格です。食品安全のリスクを低減し、安全なフードサプライチェーンを実現します。

規格、書籍

スムーズな取組みに繋がる関連書籍を紹介します。

組織の認証審査

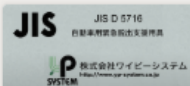
さまざまなお客様に柔軟に対応します。

(ISO22000特設ページの開設)

Webdesk会員向け情報 標準化で、世界をつなげる。

- SQ オンライン版
- 標準化 最新動向
- JIS情報
- 国際・海外規格情報
- 購読メール管理

SQオンライン版



JIS開発企業インタビュー (第1回)
特許のレベルに対応した標準化戦略

2019/06/19



Society5.0時代における都市とテクノロジーが共存する政策とアーバンイズム-テクノロジーと都市-パブリックスペースのアクティビティに関する考察-

2019/06/19



ものづくり日本復活のために！
ものづくり日本復活のために！～品質管理から経営管理へ～ 連載3回目

2019/06/19

新着ニュース

令和元年度 JISの見直し調査について
標準化 最新動向
2019/07/03

AI関連発明の特許出願状況を調査しました

標準化 最新動向
2019/07/03

日本が主導してきた

(JSAWebdesk会員情報サイトの充実)

2018年度の主要な活動実績

■各部署連携による全社的な広報および販売活動の実施

- ・ ISO45001およびISO22000 Web特設ページの開設

■様々なITツールを活用した広報活動の実施

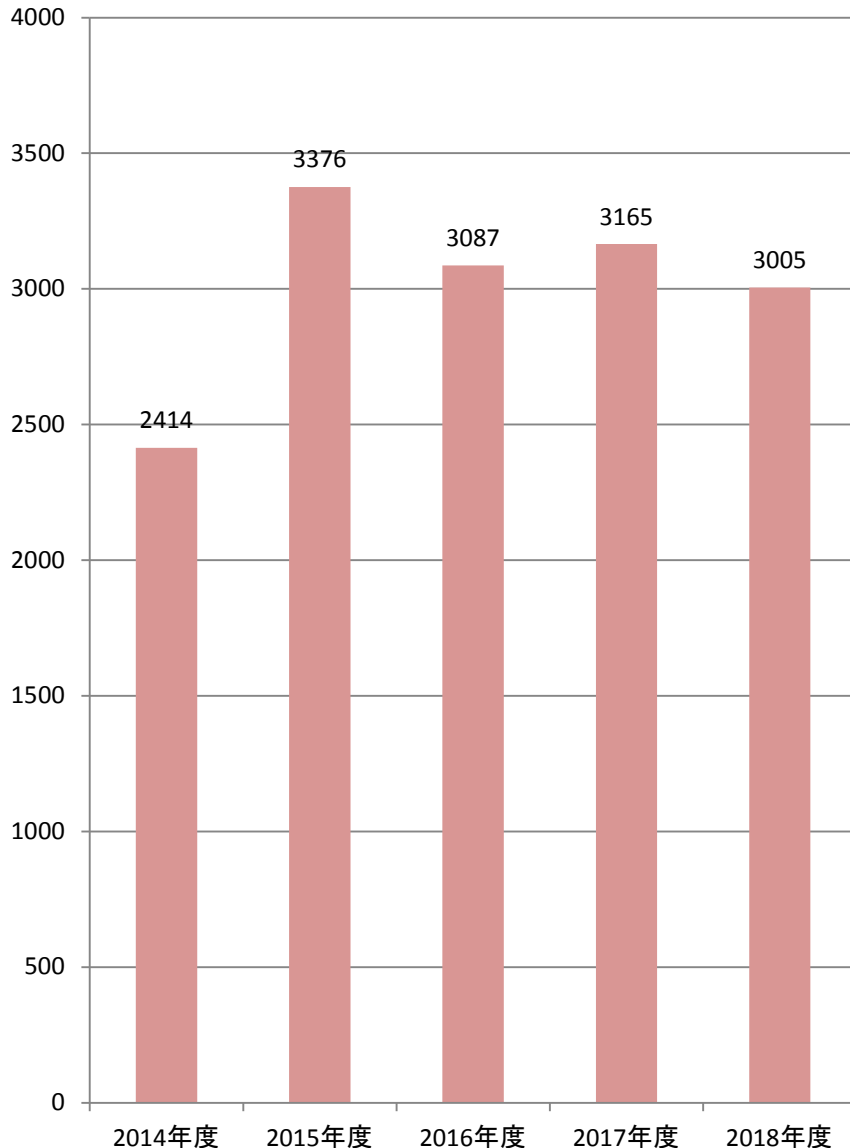
- ・ ホームページ
- ・ JSA Webdesk
- ・ メールマガジン(日本規格協会からのお知らせ)
- ・ Web広告(リスティング広告、ディスプレイ広告)
- ・ SEO対策など

■2018年4月よりJSA Webdeskの会員向けページの情報充実化

出版事業

収入状況の推移

(単位:百万円)



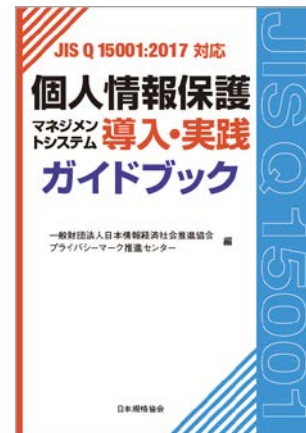
2018年度の主要な活動実績

- JSA Webdesk、ライブラリサーバの利便性向上
 - ・Webdeskに予約機能追加、ライブラリサーバお試し版リリース、JIS改正情報、強制法規情報の提供。
 - ・Webdesk会員の増加。(前年度5403口⇒13,920口)

- 情報を活用した新規サービス開発、提供試行
 - ・国内外標準化情報配信 (AI、GDPR、ブロックチェーン)
 - ・LINEスタンプ販売 (コミュニケーション用図記号T0103)

■ 主要商品・サービスの製作実績

- 【JIS規格票】 559件(前年度505件)
- 【英訳JIS】 151件(前年度143件)
- 【ハンドブック】 67点
【和64点/英3点】(前年度64点)
- 【書籍】 23点(前年度19点)
- 【国際・海外規格(邦訳版)】 83件(前年104件)

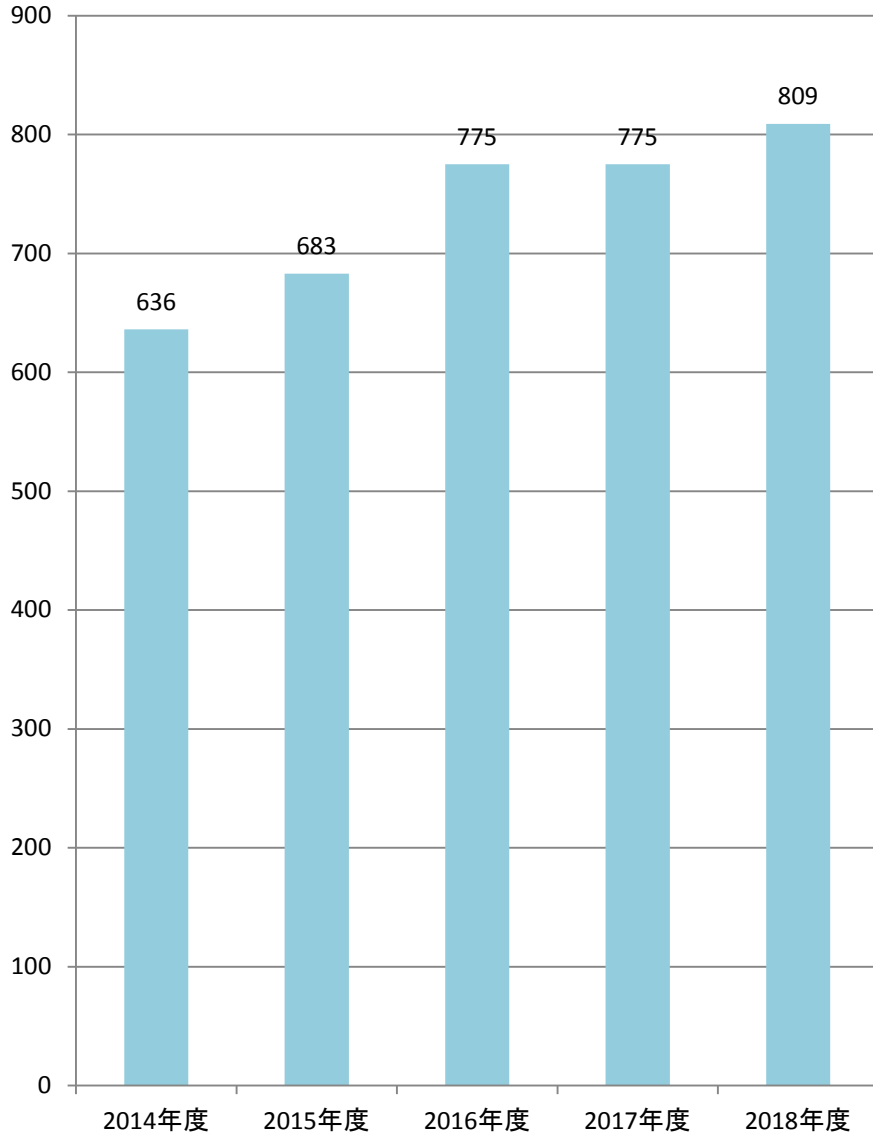


JIS Q 15001:2017対応
個人情報保護マネジメントシステム
導入・実践ガイドブック
(2018年9月14日発売)

研修事業

収入状況の推移

(単位:百万円)



2018年度の主要な活動実績

■ 全国規模での開催コース数の拡充
781コース開催: 前年比+91コース

■ 顧客ニーズに合致する新規セミナー・説明会の迅速な提供(新商品開発)

①規格関連: GHS、ISO26262(自動車分野の機能安全)、JISQ45001 & 45100、JISA5308(レディーミクストコンクリート)など、ニーズの高い規格説明会を全国で28回開催。

②管理技術関連: なぜなぜ分析上級コース、JISQ 15001(個人情報保護MS)、ISO45001(労働安全衛生MS)などの新規メニューを開発・実施。

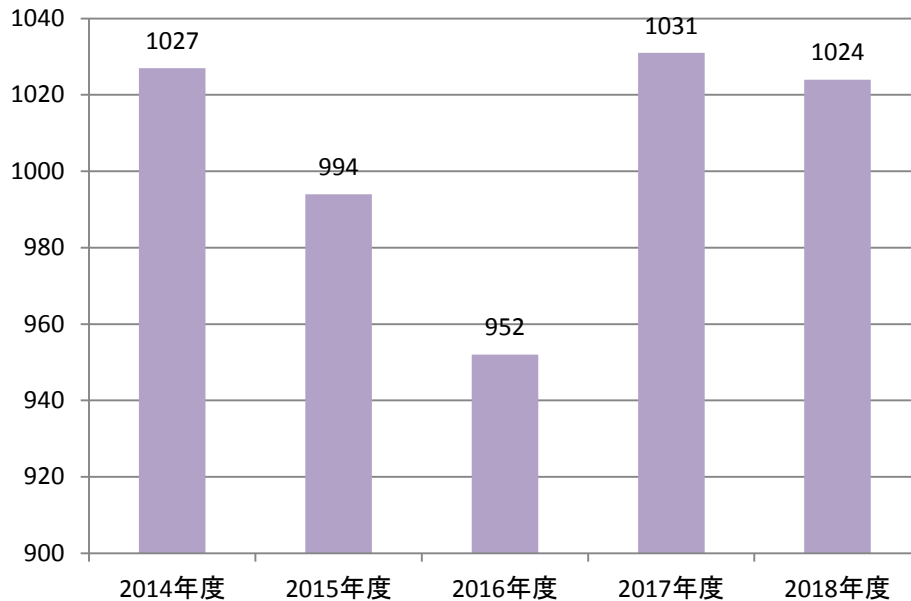


審査登録事業

※2019年4月から日本規格協会ソリューションズ株式会社へ業務移管

(単位:百万円)

収入状況の推移



2018年度の主要な活動実績

- 他機関との差別化
 - ・審査コンセプトの明確化・信頼ある審査
 - ・審査・認証価値の共有
 - ・安全・セキュリティ分野の重点攻略
 - 食品安全、労働安全衛生
- 審査の質の確保
 - ・WG活動; MS共通審査要領の構築と審査員の教育; 計50回開催
 - ・審査員研修; 計25回開催
- 登録組織との繋がり強化
 - ・登録組織限定サービス提供
 - 研修の割引
 - 情報提供
 - ・永年登録表彰(136社)

■ 新規適合性評価サービス



TSP

翻訳サービス提供者認証



HACCP

JSA-HACCP

■ サービス認証



アクティブ
レジャー認証



家事代行サービス認証



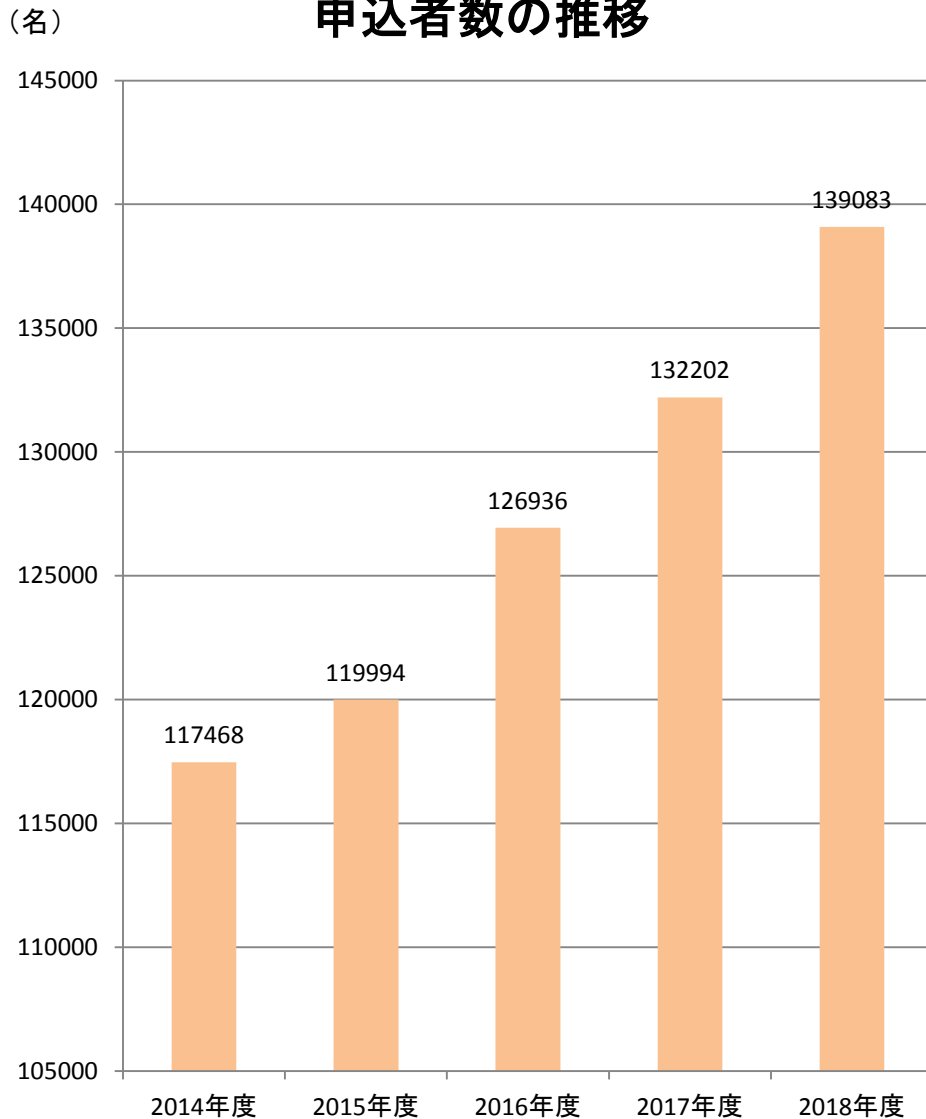
家事代行
サービス認証



ヘルスツーリズム
認証

品質管理(QC)検定事業

申込者数の推移



2018年度の主要な活動実績

■ 検定試験の定期開催; 2回(9月、3月)

- ・2018年度申込者数; 139,083名
- ・累計申込者数; 1,134,887名

■ 制度普及活動

① 企業・学校、団体への訪問PR

- ・工業高校講師を対象としたPR: 全工協夏季講習会を全国8都市で11回開催
- ・QC検定導入説明会の開催: 東京・大阪・札幌で開催

② 医療、食品業界誌、自治体機関誌でのPR

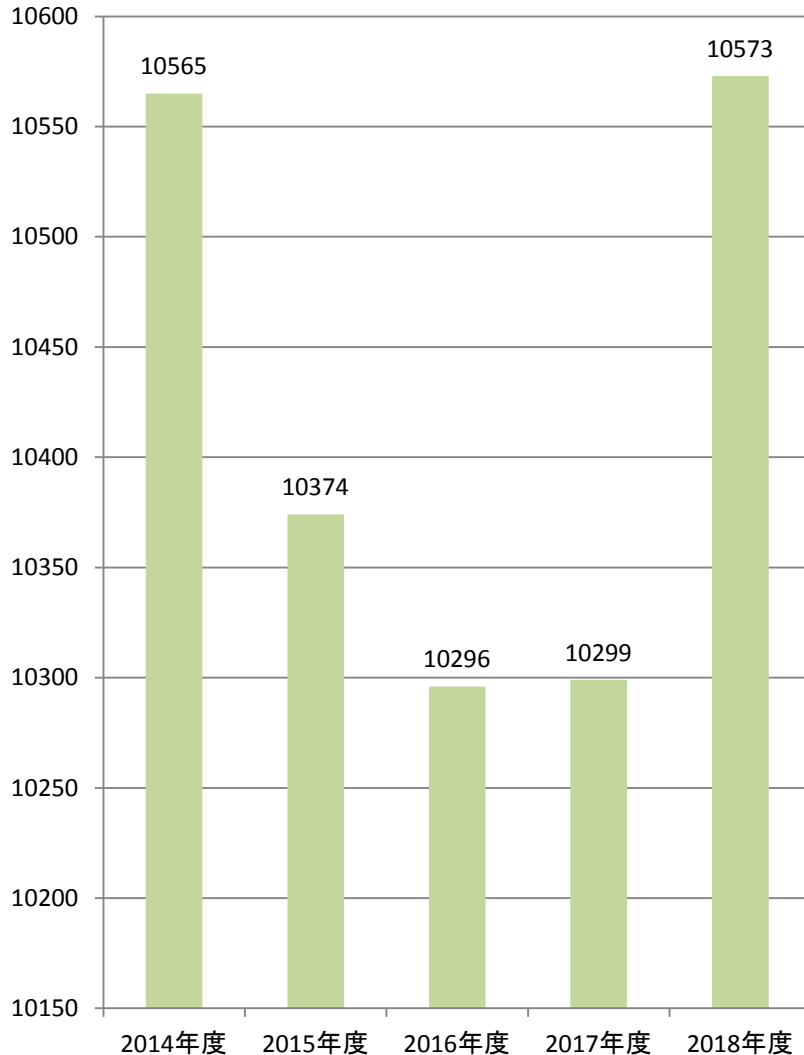
■ QC検定利用者拡大のための活動

- ・ASEAN地域でのニーズ調査等を実施

マネジメントシステム審査員等 評価登録事業

※2019年4月から(一財)日本要員認証協会へ業務移管

(名)
評価登録制度登録者数の推移



2018年度の主要な活動実績

■近年開始した評価登録制度の普及状況(開始時期)

- 規格開発エキスパート ; 337名(2017年5月)
- 翻訳者(英⇄日) ; 57名(2017年4月)

- HACCPリーダー ; 20名(2017年3月)
- FSMS22002plus審査員 ; 4名(- " -)
- ISMSクラウドセキュリティ審査員 ; 273名(2016年8月)
- 内部監査員(QMS、ISMS) ; 161名(2014年4月)
- 管理技術者(- " -) ; 140名(- " -)

■CEAR事業(EMS審査員評価登録制度)の移管合意

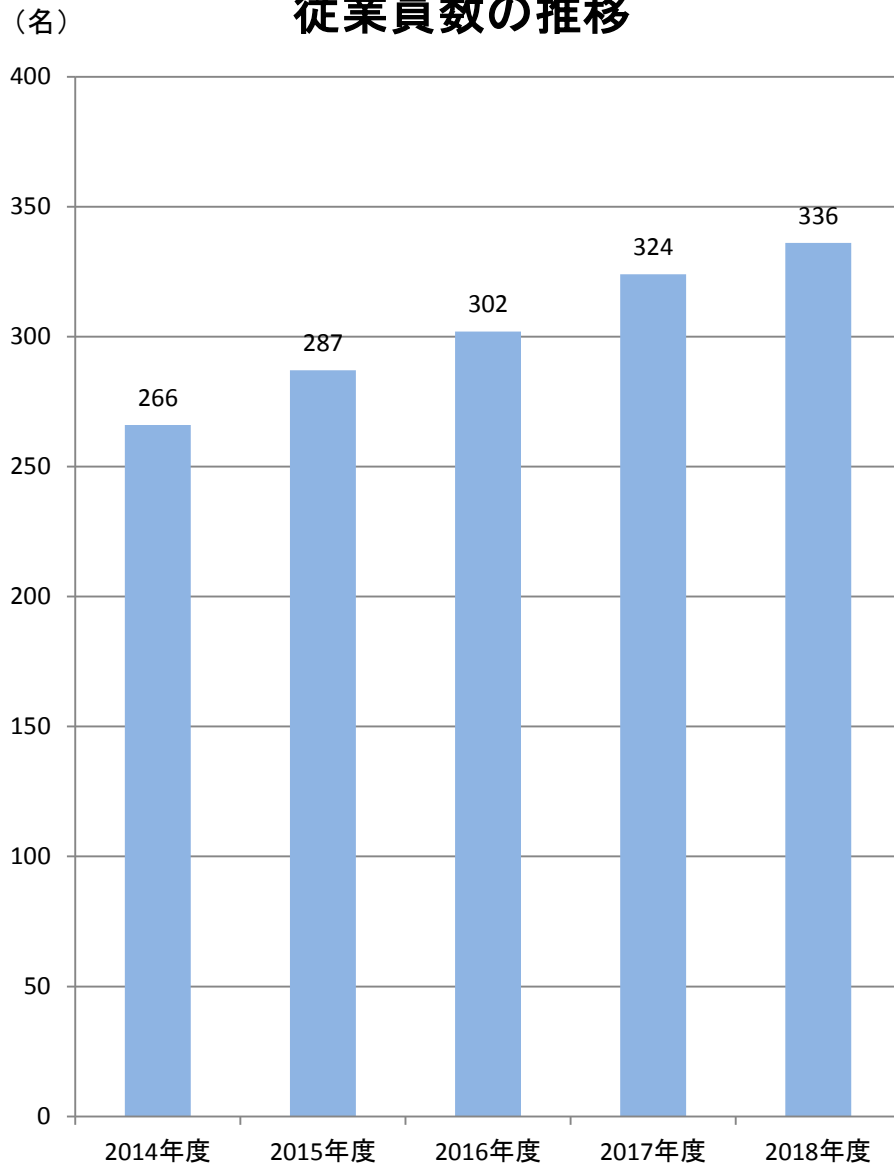
CEARとの共同検討チームで検討した結果、2019年10月にJRCAに制度を移管・統合することで合意した。

■本年度立ち上げた評価登録制度(開始時期)

- JIS Q 45001審査員 ; 90名(2018年9月)

組織の充実強化

従業員数の推移



2018年度の主要な活動実績

■人材育成・人事管理関係

- ・教育研修体系や資格取得支援制度などの職員人材育成制度を整備
- ・ISO(ジュネーブ)、経済産業省への職員派遣。
- ・ISO(シンガポール)、ジュネーブ共同事務所への職員派遣準備

■働き方改革、IT環境の整備

- ・最長80歳までの執務を可能とする高度／特別高度エキスパート制度導入
- ・システム関連規程の見直しやオフィス外執務環境の整備

■人材の確保

- ・新卒採用方法の見直し
- ・積極的な、高度なキャリアを有する人材採用の実施